

平成28年度第2回環境測定分析統一精度管理ブロック会議議事録
—九州支部—

日時：平成29年2月23日（水）10:00～12:30

場所：福岡県保健環境研究所 講堂

1 開会

2 挨拶

福岡県保健環境研究所 所長 香月 進

3 議事（議事進行 環境省 田路室長）

(1) 環境測定分析統一精度管理調査について

環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室 室長 田路 龍吾 氏

第2回会議開催の経緯について田路室長からご説明があった。

本調査は昭和50年から継続している意義のある調査として予算を毎年確保している。国は原則単年度予算であるが、これまで何らかの理由で翌年度に説明会を実施していた。しかし、予算が付かない場合は事業ができなくなるため、今年度から説明会も年度中に実施することとした。

この事業の改善要望について意見を出してもらった。今後、使いやすい事業にしていきたいと思うので、今後ともよろしくお願ひしたい。

(2) 平成28年度環境測定分析統一精度管理調査結果について

一般財団法人 日本環境衛生センター環境科学部 技師 紀平 あずさ 氏

(3) 環境測定分析における留意点及び精度管理について

- ・国立研究開発法人産業技術総合研究所地質情報研究部門 地球化学研究グループ長 岡井 貴司 氏
- ・名城大学薬学部衛生化学研究室 教授 神野 透人 氏
- ・元愛媛大学農学部 松田 宗昭 氏

(4) 質疑応答

特になし。

(5) その他

田路室長から参加機関に対し、当該調査が役にたっている点や要望等について質問をされた。全ての機関が、業務を遂行する上で精度管理調査事業を活用しており、事業の継続及び参加を希望した。具体的な活用内容等の意見は、以下のようなものがあった。

- ・分析精度がどのくらい所内で継承されているかの確認に活用している。
- ・当該事業への参加により、分析精度の担保あるいは技術の向上に努めているという対外的なアピールに活用している。
- ・他機関の結果を見ることができると、自機関で分析する上で注意すべき点の気づきがある。

- ・調査を行う上で、何に基づいて分析していくか、何を参照できるか、分析処理の仕方などのために活用している。
- ・自機関での手法の確認、メソッドの検証に活用している。
- ・業務委託先の外部機関から報告されたデータを見る際の見方を学ぶために活用している。
- ・その他として、PM2.5について微成分をいれていただけるとありがたいという意見や生体試料分析の精度管理があれば参加させていただきたいという意見が出た。

4 次期開催機関挨拶

北九州市 環境局環境監視部 環境科学研究所 環境保全・研究担当課長 佐藤 健司 氏

5 閉会